

官民共創の新しいまちづくり協議会 議事概要

会議名	第 9 回伊那北駅周辺再生ワーキンググループ (WG)			
開催日	2025 年 6 月 13 日(金)			
開催時間	開会	17:30	閉会	18:15
開催場所	生涯学習センター 402 会議室			
出席者				
協議会・WG メンバー	田畑和輝氏、高橋明星氏、須永次郎氏			
事務局・職員	建設部 橋爪部長、柴田参事 都市整備課 原課長 辰ノ口課長補佐、田尻			
関係者	—			
欠席者	—			
議事	1. 伊那北駅周辺整備基本構想について 2. 伊那北駅周辺再生 WG での「対話の場」について			

議事項目	概要	次のステップ
1. 伊那北駅周辺整備基本構想について		
伊那市より説明 ・高校生アンケート ・基本構想 A 案の説明報告	○市より説明 ・高校生からは、コンビニ及び学習室の設置を望む声が多い。 ・イベントはフードフェス、バンドライブ開催に関心が高い。 ・困りごととして、トイレの汚さや使いづらさが挙げられた。 ・駅舎に関しては JR の規則、制約があり、市民の意見を反映させることは難しい部分が多いが、駅前広場及び多目的スペースは自由度が高いことから、市民の意見を反映していきたい。 ○WG メンバー ・多目的スペース及びトイレは市の所有となるのか。 ・ホームには屋根や待合スペースは設置されるか。 ・駅前交差点の右折レーンは設けられるか。 ○WG メンバー ・多目的スペース及びトイレは国からの補助金を活用し、市の所有、管理となる。 ・JR は現状困っていないとの立場であることもあり、屋根及び待合スペースは設置しない方針。 ・右折レーンを正式に設けることは難しいが、駅前広場の幅を下げることで、車がすり抜けられるスペースの確保も検討している。	

	OWG メンバー ・基本構想のレイアウトには合理性があり、大多数は納得する一方で、少数の反対意見に対し、優先課題等を明確にして理解を得られるようにしてほしい。 ・市民全体が利用する施設の中で、高校生のみの意見を反映させると他の市民から不平不満の声が出ると思われる。利用対象者が偏らないよう注意が必要。 ・今後実施するアンケートには、駅前交差点横断歩道の渡りにくさに関する項目も追加し、検討、交渉の材料としてもらいたい。 OWG メンバー ・国交付金の観点からも同様の指摘を受けている。駅西側の利用だけでなく、東側を含めた市民全体の利用を対象としたまちづくり全体の視点が必要であり、今後の意見収集結果も併せて検討していく。 OWG メンバー ・多目的スペースを室内とした場合、継続利用には、地元ボランティア等の管理体制が必要となる。施設が完成してから管理者を募るのではなく、管理者とともに施設、場づくりを検討することが必要である。 OWG メンバー ・ボランティアだけでは継続的な維持管理は難しい。社会福祉協議会も近いことから、障がい者の就労支援として管理委託する等も検討していきたい。	・優先順位を明確にして説明する。 ・今後のアンケートでは、駅前交差点横断歩道の渡りにくさに関する項目も追加し、検討、交渉の材料とする。 ・設計時から、管理・運営者も含めて施設・場づくりを検討する。
2. 伊那北駅周辺再生 WG での「対話の場」について		
伊那北駅周辺再生 WG での「対話の場」について	OWG メンバー ・サマースクールが 8 月上旬に開催されることに併せて、対話の場の募集、実施を検討している。 OWG メンバー ・伊那北駅は高校生の利用が多いこともあり、現状、高校生へのアプローチが先行しているが、高校生だけではなく、地域で生活、活躍している大人も参画し、地元区民や市民が主体的に関わりを持てる場にしていかなければ市民の興味が薄れてしまう。各 WG のイベント参加者も回を重ねるごとに減っている。 ・駅前広場、多目的スペース等についても高校生だけでなく、地元市民の意見を収集、反映する場を設けるべきである。 OWG メンバー ・対話の場では、地元の大人にも参画いただき、高校生との交流を図る等、内容を検討していきたい。	・地域で生活、活躍している市民も主体的に関わりを持てる場にする。

